

令和2年4月（2020年）No. 652

### <新型コロナウイルス蔓延>

## OMC始まって以来の災厄

### 3月、4月の例会が止む無く中止、撮影会も取りやめ

今年の2月の初め頃は、まだ新型コロナウイルス流行の話は、他人事のような気持ちで聞いていたのですが、2月も半ば頃から次第に身の回りに飛び火してきて、私の活動にも少なからず影響が出始めました。まず大阪市立中央図書館との共催事業であった「第39回日本を縦断する映像発表会」が中止となり、それが大阪だけでなく全国で中止を止む無きに至りました。例会場はまだ閉館していませんが、掲示板には会合の中止が多く掲げられ、わがOMCも3月に引き続き4月も中止に追い込まれてしまいました。会員には高齢者が多く、交通機関を使って集まるとのことで、国が求める三つの「密」に当てはまり、不要不急の外出はやめるようにとの要請にこたえることにしました。

いずれこの新型コロナウイルス渦が過ぎ落ち着きましたら、また大いに集い楽しみましょう。

■課題コンの公開審査日は7月第2例会とします。ぜひ作ってください。



## OMC 4月例会開催について

新型コロナウイルス感染拡大が報じられ、外出の自粛要請が発表されている現況に鑑み、4月例会は中止とさせていただきます。従いまして、下記の通りご案内させていただきます。

- 1、会員の皆様が、頑張って作品作りに励んでおられることを考えて、お作りになった作品を会長までお送りください。
- 2、締め切りは（4月25日）の消印有効とさせていただきます。ただし新作のみといたします。
- 3、お送りいただいた作品は、会長に評価していただき、次号の会報に講評を掲載いたします。

# 4K8K ビデオ雑感

(勉強会をとおして)

進藤信男

令和2年1月、3月第2例会で、2回にわたり「4K8K ビデオ 基本編」、「同 実践編」として勉強会を行いました。2回の目的は、新しい4K8Kビデオ作品とはどんな映像づくりになるのか、その基本になる事にはどんな事があるのかを知りたいとの思いからのものでした。もちろん、専門的に習った事ではないのに臆面も無く、「門前の小僧よろしく」よくやるものだと一笑に付されかねないものかも知れません。この点をご容赦ください。

この2回を通して、基本的にはどんなことが必要なのか、どんな準備をすれば良いのかは網羅できたのではないかと思います。また、決して難しく手が出ないものでもなく、身近に利用できる物があることも分かりました。そして、いきなりチャレンジした作品もそれなりに作ることが出来ました。

そこで、次のステップへ進める前に、8ミリから手がけられ多くの作品を作っておられる方が多いと思いますので、過去の作品や撮影データについてもう一度どんな物であったのか、やり残している事にどんな物があるかを振り返ってみることも大事ではないかと気づきました。

私には、8ミリフィルム作品やアナログビデオ作品作りの経験はありません。経験された皆さんには、沢山のアナログ作品や撮影データを持っておられる方も多いのではと思います。アナログまで遡らなくても、いわゆるハイビジョン以前のSDビデオ作品や撮影データを持っておられる方はおられると思いますし、これなら私にもあります。

今回ご紹介した、4K8K(ビデオ・テレビ)国際標準化はテレビ放送向けに定められたもので、私たちはそれに基づいて開発製造された機材や関連ソフトウェアを利用して作品作りを楽しんでいます。

4Kカメラとして開発されたものは、既に市販され若い人たちにも沢山利用されています。今「カメラを欲しい」と販売店へ行くと、まずこれらのカメラが紹介されると思います。

4K8K放送は、既に2018年12月から本放送がはじまっています。延期されたとはいえオリンピックでは全てがこの放送対象であると聞いています。令和元年秋頃からのテレビの売れ行きも、この放送受信が出来る物が半数以上であるとも聞きます。また、受信用チューナーやレコーダーも電気(機)店の店頭と並びました。店頭では、液晶テレビと有機EL製のものが比較展示されています。

2003年12月1日に始まった地上デジタル放送も17年目になっています。初期の液晶テレビにあき足らず敢えて買い求めた、S社が最後まで拘ったと評された80Kgを超えるブラウン管テレビも、一度だけ電源ユニット故障があっただけで頑張ってくれました。併存しているプラズマ機の方は、ノー

トラブルです。同時に求めたレコーダーは、録画は出来るがダビングが出来ない、時々テレビとのインターフェイスが不安定になるが修理部品在庫が無くどこまで我慢するか昨今です。

勉強会でありました4K8K(ビデオ・テレビ)国際標準化規定、BT-2020、BT-2100を見ると、解像度はHD(1920×1080、1440×1080、1280×720)、4K、8Kは対象としているが、SD(720×480、720×576)は含まれていません。また、アスペクト比は、16:9ワイドのみで4:3はなく、映像信号方式も私たちが愛用してきたインターレース方式はなく、プログレッシブ方式のみです。標準解像度・SDで同一画素数によるアスペクト比、標準画面4:3とワイド画面16:9の併存では映写出来たり出来なかったりが発生して少々苦労しました。

4K8K(ビデオ・テレビ)国際標準規定で説明されたビット深度、色域、速くなったフレームレートは、次に出てくる明るさ・輝度・ダイナミックレンジによるいわゆる画質向上・色表現の実現手段でした。しかも、従来テレビなどの表示装置と新しい技術向上を達成した表示装置が併存した環境に適合しながら、新しい映像を楽しむことが目指されていました。

そこで、新しいステージに進んでいくため、残されたテープ記録の映像やSD方式記録された映像は、プレーヤーや対応パソコンが健在な間に少なくともHD映像に変換して、HDDやブルーレイなどのディスクに保存しておくことが賢明だと思います。

一方、パソコンのシステムソフトWindows7の保守期間終了のこともあります。最近のコロナウイルスではありませんが、ネットワーク化された環境では、Windowsの定期的な更新は新しいシステムについても必須のものです。上記新しいステージ云々については、パソコンのソフトウェアとも密接に関係します。機器類のハードウェアとソフトウェアを合わせて、前向きに対応しておくことが、長くビデオを楽しむ環境作りになります。最近よく聞く「今が勝負どころ」になっています。皆さんが対応を始めると、いろいろな情報が交換できる好機になると思います。

諸般の事情から撮影会や映写会が中止になるなどのことがありましたので、4K8Kビデオ勉強会については、5月第2例会で「応用編」として、今までの変遷も思い起こしながら、個別対応事項をテーマにして行う予定です。今までの2回分「基本編」と「実践編」の資料をお持ちいただき参加ください。これら資料については、時間差がありますが参加できなかった会員の皆さんにもメールなどを通して配布しています。

新聞のコラム欄で見ましたが、「しばらくの我慢」から「もう元には戻れない・出来ない」ではなく「これを機にすすめよう」では如何でしょうか。

以上

引き続き、合原会長から表彰状の授与が行われました。  
中村さんに令和元年度作品賞を授与  
優秀賞 作品「ほんまもんへの拘り」  
(総会当日欠席の為今回授与)



## 3月第二例会

運営担当：司会 進藤、書記 高瀬、映写 中川、メモリー記録 江村、  
受付 照明 森下の各氏

出席者：植村、江村、岡本、紙本、合原、進藤、関、高瀬、中川、中村、森下、山本の12氏

上映作品 (今月の書記は高瀬氏)

### 1、雛祭りのころ BD

岡本至弘 7分

(作者コメント)

奈良県高取町で毎年行われている雛祭りの行事を撮影しました。

(書記コメント)

古くからの雛人形、手づくりの雛、変わり雛の時代行列など町中の雛祭りを楽しみながら撮られている様子がかげえる。



### 2、トルコ・カッパドギア BD

中川良三 9分10秒

(作者コメント)

トルコに観光に行った時の記録映像。トルコは親日国で100年前のエルトゥールル号の話が未だ語り継がれている。今回は奇岩が群れ合っているカッパドギアの記録をまとめてみました。

(書記コメント)

ビデオ撮影に不慣れな頃の作品ということですが、珍しい奇岩の風景は的確なナレーションでよく分かりました。



### 3、左義長まつり BD

高瀬辰雄 17分10秒

(作者コメント)

21年前の平成11年のDV4:3の作品。近江八幡の左義長まつりを地元町内の協力やビデオ仲間の力を合わせて1月から3月にかけて、ほぼ毎週出かけて撮影したもので、思い出深い作品。もとは30分ほどあるのですが、17分に短縮しました。



### 4、枚岡灯明祭 BD

江村一郎 8分20秒

(作者コメント)

去年8月に開催された河内一宮枚岡神社の枚岡灯明祭行事の様式です。前回は「おわら風の盆」奉納踊り主体でしたが、今回は行事全体を捉えようとしたが、最後は雨に降られ、やむを得ず撤収することになった。

(書記コメント)

同じ祭りや行事でテーマを分けて作品にするのは容易なことではありません。今回は雨の情景も取り入れられ、上手くまとめられている。



### 5、中国・文明村 DVD

合原一夫 9分

(作者コメント)

中国雲南省の棚田撮影会に同行した際、文明村と呼ばれる集落があった。何の変哲もない無味村だが、その一角に古い立派な彫刻で飾られた農家があった。日本なら文化財として管理されるは





ずだが、ここでは実際に人が生活していて驚いた。文化財の中で生活するというのはどんな気持ちなんだろう。撮影は平成 16 年（2004 年）

(書記コメント)

文明村の卓越した技術で作られたと思われる彫刻と素朴な村の人々、特に子供たちの表情が印象的です。

## 6. ガンダムに失望 B D

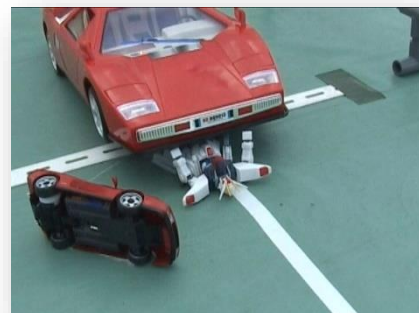
植村朝一 4分35秒

(作者コメント)

平成 17 年に制作した SD 版の作品を再編集したもので、リモコンのミニカーとプラモデルのガンダム (1/100 スケール) を用いた SF の作品。入念に準備体操をしたガンダムは大きさの異なる 3 台の自動車と対決する。

(書記コメント)

ガンダムのプラモデルを使って、コマ撮りで撮影されたとか。ガンダムの準備体操はスムーズに動いており、映写時間は短いですが、かなり時間をかけて撮影されたのではないのでしょうか。



## 7. アビニヨンの橋 B D

山本正夢 7分

(作者コメント)

去年の秋に訪れました。昔、法王庁があった古い街です。歌にある「アビニヨンの橋の上で」はあまりにも有名です。

(書記コメント)

聞き覚えのある「アビニヨンの橋の上で」(邦題アビニヨンの橋で)の曲が流れるが、調べてみて、それがフランスの民謡だったことを初めて知りました。



## 8. レクイエム II B D

関剛 6分5秒

(作者コメント)

ベルリン大空襲で破壊されたままの教会の鐘楼。戦争の悲惨さを後世に伝えるため今もベルリン市街地の真ん中に醜い姿をさらけ出して立っている。その戦争の悲しさをちょっぴり盛り込んでみた。

(書記コメント)

作者ならではの映像表現で印象深い作品。2000 年頃の制作で、今回改作されたようです。



## 9. 山陰湯村温泉 夢千代の里 B D

中村幸子 6分36秒

(作者コメント)

今回は気楽な作品を作ってみました。NHKのドラマ「夢千代日記」の舞台となった湯村温泉の雪の情景に夢千代日記を登場させてみた。

(書記コメント)

作者の湯村温泉への深い思いがこもった作品。夢千代の話をもう少しカットを増やして描写されてもいいように思います。



## 10. 綾部山梅林 B D

紙本勝 6分

(作者コメント)

昨年 2 月 18 日には蕾が多く、今年 3 月 1 日には満開で、一目 2 万本といわれてもビデオ撮影でそれを表現するのは困難です。作品というようなものではなくて、こんな状態でしたといったところです。

(書記コメント)

昨年、蕾だったので、今年、再挑戦されたということでしょうか。その意欲にはいつものことながら感服します。

